

6 度 目 V 常 勝 C I T

ロボカップジャパン サッカー

NEWS CIT

ニュースシーアイティ

2015
6.15

千葉工業大学・入試広報部
〒275-0016 千葉県習志野市津田沼
2丁目17番1号
TEL 047(478)0222 FAX 047(478)3344

<http://www.it-chiba.ac.jp/>

毎月1回(8月を除く)15日発行

ニュースガイド

- 2面 高校教員へ28年度入試説明会
／28年度入試日程／第49回成
田山詣行脚／齋藤氏春の叙勲
者に
- 3面 名誉教授に3氏／27年度同窓
会総会開く／校友「山下利一
郎氏」
- 4面 第20回文化の祭典／クラブ活
動状況



6度目の優勝を飾った「CIT Brains」チームと林原教授(前列右から3人目)

来月、中国で世界戦

5月2日から4日まで福井県産業会館などで開催された「ロボカップジャパンオープン2015福井」のサッカーヒューマノイドリーグで、本学未来ロボティクス学科のチーム「CIT Brains」が2年ぶり6度目の優勝を成し遂げ、テクニカルチャレンジでも1位になった。同チームは7月に中国で開かれる世界大会に挑む。

テクニカルも1位

「CIT Brains」は昨年のジャパンオープンには参加せず、7月にフランスで開催された世界大会で完全優勝。最も優れたヒューマノイドロボットに与えられる「レイ・ウイトン・ヒューマノイド・カップ」を獲得した。2年ぶりに出場したジャパンオープンはルールが改定されて、難易度が大幅に引き上げられた。最大の変更点は使用するサッカーボールの色。昨年まではオレンジ色だったのが、白・黒・青・緑・オレンジなど多様な模様の多色ボールに変わった。このため画像処理技術を使ってオレンジ色を探知し、ボールを認識するこれまでのやり方が全く通用しなくなった。技術開発のハードルが

上がったこともあり出場を見送る常連チームが続出し、キッド、ティーン、アダルトの3サイズのうち競技が行われたのはキッドサイズだけ。出場チームも「CIT Brains」と中国・浙江大の「ZJU Dancer」、いわき明星大の3チームだった。ちなみに浙江大はロボカップ世界大会でベスト4に入る強豪校。「CIT Brains」は2013年オランダ大会の3位決定戦で対戦し敗れている。今大会3チームは総当たり戦を2回行い、特に「CIT Brains」J「ZJU Dancer」が熱戦を繰り広げた。



中国・浙江大と対戦(ブルーの腕が本学 CIT Brains)

★ロボカップジャパンオープン2015出場のCIT Brainsメンバー(学生は全員未ロボ)
山本龍▽安藤雅幸▽牧角知祥(以上4年)▽加瀬林千里▽鈴木裕加里▽増田萌乃▽関遥太▽平間翔大▽鈴木友崇▽菅野祐輝▽平田裕也▽スプラトマン・ジョシユア(以上2年)
町浩輔未ロボOB▽林原靖男(同教授)

マカオUSJとも 交流協定を締結



小宮一仁学長「写真左」は5月11日、中国マカオのセントジョセフ大(USJ)を訪れ、ピーター・スティルウェル学長「写真右」と大学間交流協定を締結した。USJは中国マカオ特別行政区にあり1996年、カトリック・マカオ教区とポルトガル・カトリック大が共同で設立し

た。建築・経営管理・デザイン・情報科学・経済学・社会学など幅広い分野の学部を展開している。USJは、中国に遠征後もヨーロッパ型の教育システムを続けている、マカオ唯一の大学であり、日本の大学では本学が初めて交流協定を結んだ。

対戦は「CIT Brains」が4勝1引き分け、「ZJU Dancer」を振り切ったが、「うちにとって引き分け試合は久しぶり」とチームを指導する林原靖男教授。この結果、ヒューマン

対戦は「CIT Brains」が4勝1引き分け、「ZJU Dancer」を振り切ったが、「うちにとって引き分け試合は久しぶり」とチームを指導する林原靖男教授。この結果、ヒューマン

対戦は「CIT Brains」が4勝1引き分け、「ZJU Dancer」を振り切ったが、「うちにとって引き分け試合は久しぶり」とチームを指導する林原靖男教授。この結果、ヒューマン

対戦は「CIT Brains」が4勝1引き分け、「ZJU Dancer」を振り切ったが、「うちにとって引き分け試合は久しぶり」とチームを指導する林原靖男教授。この結果、ヒューマン

対戦は「CIT Brains」が4勝1引き分け、「ZJU Dancer」を振り切ったが、「うちにとって引き分け試合は久しぶり」とチームを指導する林原靖男教授。この結果、ヒューマン

対戦は「CIT Brains」が4勝1引き分け、「ZJU Dancer」を振り切ったが、「うちにとって引き分け試合は久しぶり」とチームを指導する林原靖男教授。この結果、ヒューマン

対戦は「CIT Brains」が4勝1引き分け、「ZJU Dancer」を振り切ったが、「うちにとって引き分け試合は久しぶり」とチームを指導する林原靖男教授。この結果、ヒューマン

対戦は「CIT Brains」が4勝1引き分け、「ZJU Dancer」を振り切ったが、「うちにとって引き分け試合は久しぶり」とチームを指導する林原靖男教授。この結果、ヒューマン

対戦は「CIT Brains」が4勝1引き分け、「ZJU Dancer」を振り切ったが、「うちにとって引き分け試合は久しぶり」とチームを指導する林原靖男教授。この結果、ヒューマン

対戦は「CIT Brains」が4勝1引き分け、「ZJU Dancer」を振り切ったが、「うちにとって引き分け試合は久しぶり」とチームを指導する林原靖男教授。この結果、ヒューマン

OPEN CAMPUS 7.19

津田沼キャンパス 10:00~17:00

千葉工業大学

到着した成田山新勝寺で記念撮影



第49回 成田山詣行脚

120人踏破し達成感

第49回成田山詣行脚（体育会本部主催、会長鈴木博英君・電気電子情報工学科4年）は5月9、10日に行われ、学生・教職員120人が津田沼キャンパスから成田山新勝寺まで約40kmを徹夜で歩き通した。

精神力・体力向上、無病息災を願い、親睦を兼ねて毎年行っている。今年度は120人が9日午後6時半、津田沼キャンパスをスタート。途中2度の休憩をとりながら歩き続け、12時間半後の翌朝7時、全員が成田山新勝寺に無事に到着した。



長く苦しい道のりを歩き抜いた学生たちは、ゴールで見守る教職員や同窓会成田支部の面々の姿に安堵の表情を浮かべた。どの顔も、達成感に満ちた笑顔で「やったー」と声を掛け合った。

体育会会長の鈴木君「写真」は「今年度は学生参加は今回で3回目。一人間力の向上」を目標に、瀬戸熊理事長と応援団のエネルギーで津田沼を出発。間もなくパラパラと雨が降り始めた。雨合羽を着て、会話を減らして歩き、交流もより深い行き届き、交流もより深い

「今年度は学生参加は今回で3回目。一人間力の向上」を目標に、瀬戸熊理事長と応援団のエネルギーで津田沼を出発。間もなくパラパラと雨が降り始めた。雨合羽を着て、会話を減らして歩き、交流もより深い行き届き、交流もより深い

高校教員を対象にした本学の28年度入試の1回目の説明会が5月26日、津田沼キャンパス2号館大教室で開かれ、88校から90人の教員が参加した。7年続いで総志願者数が過去最多を更新するなど、最近の本学の受験生人気を反映して、参加者は東京都や千葉近県を中心に北関東、甲信越と広がり、岡山県から参加した教員も見られた。

冒頭、日下部聡入試広報部長が「本学は近年、社会に役立つ研究や技術開発、夢のある研究に力を入れ、その成果を社会に発信することに努めています。数年前に比べれば、その量は5倍にも6倍にも伸びているでしょう。最近の志願者数の増加は、こうした努力が評価された結果であると思っております」とあいさつ。

また、小宮一仁学長は、「学長就任以来、私が進めてきた教育改革の成果が次第に上がってきており、皆さんからご批判のあった留年率・退学率も一昨年、昨年と大きく改善してきています」と、本学の教育改革が前進していることを訴えた。

説明会では、まず大川茂樹副学長が「28年度4月



工学部新学科について説明する大川副学長（タウンキャンパスで）

開成予定の学部学科についてと題して、現在の工学部6学科が、新たに①工学部②創造工学部③先進工学部の3学部12学科に生まれ変わる予定であること。この結果、現在の情報科学部2学科、社会システム科学部3学科と合わせて、千葉工業大学5学部17学科に再編されることを説明した。

続いて熊本忠彦入試委員長（情報ネットワーク学科教授）が「平成28年



高校教員へ28年度入試説明会

志願者増で173校が参加

度入学試験について」と題して、AO・推薦入試、センター・一般入試のそれぞれ特徴と概要について、さらに入試広報課の出口武志課長が27年度の入学結果と28年度の動向について、丁寧に説明した。28年度は入試制度自体に大きな変更はないものの、工学部改編に伴う定員の細分化で倍率は上がる可能性が高いという予測に高校教員ら一同、真剣な表情でうなずいていた。

また、説明会の前後にはそれぞれ60分ずつの個別相談会が設けられ、入学試験委員から熱心に説明を受ける教員らの姿が見られた。

6月29日にはスカイツリータウンキャンパスで2回目の入試説明会が開催され、85校86人が参加。2回にわたる説明会で参加校は173校、教員は176人に上った。

平成28年度 千葉工業大学入学試験日程

試験種別	願書受付期間	試験日	合格発表日
AO・推薦・特別・編入学試験			
AO創造入学試験〔書類審査・実技・面接〕	8/3(月)～9/7(月) (消印有効)	9/20(日)または9/21(月・祝) (社会システム科学部は9月20日(日)のみ)	9/25(金)
自己推薦入学試験 社会システム科学部のみ実施〔書類審査・面接〕	9/10(木)～10/6(火) (消印有効)	10/17(土)	10/22(木)
公募制推薦入学試験 専門高校推薦入学試験〔書類審査・面接〕	10/14(水)～11/2(月) (消印有効)	11/14(土)	11/19(木)
指定校制推薦入学試験【一般高校・専門学校】〔書類審査・面接〕	10/14(水)～11/2(月) (消印有効)	11/15(日)	11/19(木)
帰国生徒推薦入学試験【指定校制】〔書類審査・面接〕	10/14(水)～11/2(月) (消印有効)	11/15(日)	11/19(木)
帰国生徒特別入学試験〔書類審査・小論文・面接〕	10/14(水)～11/2(月) (消印有効)	11/14(土)	11/19(木)
社会人特別入学試験〔書類審査・小論文・面接〕	10/14(水)～11/2(月) (消印有効)	11/14(土)	11/19(木)
外国人留学生特別入学試験〔書類審査・面接・日本留学試験結果〕 (窓口受付のみ)	9/28(月)～10/9(金)	11/14(土)	11/19(木)
編入学試験〔書類審査・小論文・面接〕 3年次または2年次受入れ	9/28(月)～10/9(金) (消印有効)	11/14(土)	11/19(木)

試験種別	願書受付期間	試験日	合格発表日
大学入試センター利用入学試験・一般入学試験			
大学入試センター利用入学試験【前期】 (2WAY方式、全学部・全学科入試)	12/21(月)～1/15(金) (消印有効)	1/16(土) 17(日) センター試験 (本学個別試験なし)	2/6(土)
大学入試センター利用入学試験【中期】 (全学部・全学科入試)	1/26(火)～2/12(金) (消印有効) 2/13(土)～2/16(火) (窓口受付)	1/16(土) 17(日) センター試験 (本学個別試験なし)	2/22(月)
大学入試センター利用入学試験【後期】 (全学部・全学科入試 同日併願方式)	2/13(土)～2/29(月) (消印有効) 3/1(火)～3/4(金) (窓口受付)	1/16(土) 17(日) センター試験 + 3/5(土) 本学試験【午後実施】	3/8(火)
A日程入学試験 (自動加重配点方式、試験日自由選択方式、全学部・全学科入試 同日併願方式)	12/21(月)～1/25(月) (消印有効) 1/26(火)～1/30(土) (窓口受付)	1/31(日) 2/1(日) 2(火) 3(水)	2/6(土)
B日程入学試験 (2教科受験、試験日自由選択方式、全学部・全学科入試 同日併願方式)	1/26(火)～2/12(金) (消印有効) 2/13(土)～2/16(火) (窓口受付)	2/17(水) 18(木)	2/22(月)
C日程入学試験 (同一時間内2教科選択方式、全学部・全学科入試 同日併願方式)	2/13(土)～2/29(月) (消印有効) 3/1(火)～3/4(金) (窓口受付)	3/5(土) 【午前実施】	3/8(火)

28年度入試の変更点
平成28年度入試の日程がこのほど決定。28年度は工学部改編に伴い工学部3学科、創造工学部6学科、先進工学部3学科の17学科で募集が行われる。前年度との変更点は、自己推薦入学試験の会場をスカイツリー

科、社会システム科学部3学科の17学科で募集が行われる。前年度との変更点は、自己推薦入学試験の会場をスカイツリータウンキャンパスから津田沼キャンパスに変更。また、前年度から一部インターネット出願としていたところを、28年度はオールネット出願に。そのほかは大きな変更はなく、本学以外のサテライト試験場も昨年と同様にA日程14会場、B日程6会場を実施する。



出発前の神山君

最後の「長い階段」で

深夜、住宅地を過ぎて建物が消え、切り一面真っ暗な通りが続く。休憩所でおにぎりや飲み物が配られた。残り10kmを踏破出来る気がしてきた。

朝6時半頃、目的地成田山新勝寺が近づいてきた。最後の「長い階段」に突入した。気力の残る人は階段を全力で走り抜ける（ー）のが、ちょっとした伝統になっている（笑）。私も全力で走ったが目の前の1年生を抜くことが出来ず残念……。到着式で周りを見渡すと、うつらうつら眠ってしまう人も。記念撮影後、記念品とあはばんが配られ解散となった。



参加した皆さん、今後、辛いことがあっても、長い道のりを自分の脚で完歩できたことを思い出してみてください。

藤原英警備員「写真」が瑞玉単光章を受章した。陸上自衛隊で空挺隊員の養成などに携わった功績が認められた。平成20年4月から本学総務部に勤務し、以来、学内環境の安全確保に務めている。

平成27年度の春の叙勲者が4月29日に発表され、新習志野学生課の齋藤英警備員が瑞玉単光章を受章した。

名誉教授に3氏



武石 洋征氏



山本 明氏



西林 賢武氏

本学で長年、教鞭をとり学術の向上に寄与した3氏に、4月27日付で千葉工業大学名誉教授の称号が授与された。

名誉教授となったのは元機械サイエンス学科教授の武石洋征氏、建築都市環境学科教授の山本明氏、工学部教育センター教授の西林賢武氏。

この4月に「人工知能・ソフトウェア技術研究センター」を設立し、3本の矢がそろったこと、東京スカイツリータワーキャンパスも開設から丸3年を迎え、来場者が43万5000人（5月22日現在）を突破したことなどを披露した。

そして、「本学は5月15日で創立73周年を迎え、全国の大学は今、18歳人口の急激な減少という難題に直面している。その中で本学は創立100周年を目指してさらに前向きな施策をどんどん打ち出していきたい」と決意を語った。

「千葉工大躍進」を実感

27年度同窓会総会開く

同窓会の平成27年度通常総会と懇親会が5月23日、津田沼校舎で開かれ、最近の本学の躍進ぶりを報告する小宮一仁学長、瀬戸熊修理事長のあいさつに先輩たちは改めて母校の発展を実感。会は例年以上の盛り上がりを見せていた。

通常総会は4号館431教室で開かれた。冒頭のあいさつで坂本洋会長（昭和45年土木卒）は「同



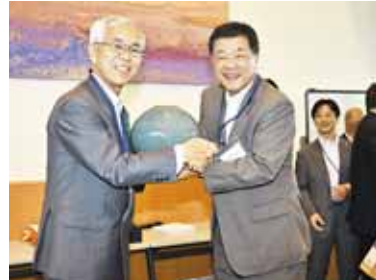
同窓会総会であいさつする小宮学長

窓会は今年度、設立68周年を迎え、会員数は8万100人となったが、うち約4万6000人が平成に入ってから卒業生。同窓会の次の時代を担っていくこの人たちに、同窓会活動への参加を積極的に呼びかけていきたい」と訴えた。

また、同会長は来年度に予定されている工学部の改編に対応して、学科ごとに選任している学外評議員の定数のあり方と同窓会設立70周年の記念行事について、それぞれワーキンググループを設



懇親会で理事長らが鏡開き



青磁の壺を当てる菅原さん(右)

る」と報告した。

総会はこの後、26年度事業報告・収支決算、役員承認、27年度事業計画・収支予算を全会一致で承認。坂本会長の再選が正式に決まった。

懇親会は会場を1号館20階ラウンジに移して開かれた。

この席で瀬戸熊理事長は「この10数年、大学としてのブランド力を上げるために一生懸命に頑張ってきたが、最近、やっとながら開いてきた」として、未来ロボット技術研究センター、惑星探査研究センターに次いで、この4月に「人工知能・ソフトウェア技術研究センター」を設立し、3本の矢がそろったこと、東京スカイツリータワーキャンパスも開設から丸3年を迎え、来場者が43万5000人（5月22日現在）を突破したことなどを披露した。

そして、「本学は5月15日で創立73周年を迎え、全国の大学は今、18歳人口の急激な減少という難題に直面している。その中で本学は創立100周年を目指してさらに前向きな施策をどんどん打ち出していきたい」と決意を語った。

この後、坂本会長、瀬戸熊理事長、小宮学長、交代した4人の新支部長を代表して小野寺康宮城県支部長、学生を代表して木村孝一学友会会長の5人で鏡開きをし、宮川博光常務の発声で全員が乾杯。

同窓会に関わる企業などからの豪華な景品を引き当てる抽選会では、当選番号が読み上げられるたびに会場は大きな歓声に包まれた。会長賞の有田焼青磁の壺は広島県から参加した菅原泰治さん（昭和52年工経卒）が射止めた。

懇親会には中川勇人文化会会長と鈴木博英体育会会長も参加。中締めの前には応援団（鈴木海渡団長）のエンルに合わせ、出席者全員で校歌を斉唱。先輩たちは学生時代の思い出に浸っていた。

活躍する 校友

西日本新聞社執行役員（広告局長）

山下利一郎氏（55歳）

（昭和57年、工業経営学科卒）

学生時代に培った人間力と卒業研究の知識をフル活用し、いま西日本新聞（本社・福岡市）の広告局長（執行役員）として営業の第一線に立つ。山下利一郎さんの歩みは異色の本学OBといつてよからう。

新たに取り組んだのが九州では縁遠かったスキー。当時、若者の間でスキーブームは一大ブームだった。札幌オリンピック（1972年）が契機といわれる。深夜バスを連ねてリゾート地へ群がった。山下さんはこどももカッターを追い、練習を重ねる。アスキーのバイトをこなすほど技量を上げた。卒業後もスキー場通いを続けインストラクター免許も取った。器用なのだろう。

青春という時計の針の回転

期努力）は高くてもだんだん下降するが、終わり（終末努力）は再度上がらないうまうまい。そのコツを知っていたぶん、入社試験はうまうまい。33年前を思い出し笑いながら、理想的な検査カーブを描いてくれた。

実はこの時分、新聞業界はコンピューター組版システム（CTS）導入の渦中にあつた。新聞製作の新时代。クレペリン検査もさることながら、コンピューター言語の知識を買われたのだろう。

務の流れはすでに頭の中にあるとはいえず、持ち前の明るさで切り替えはスムーズだったようだ。福岡とびうめ国体（1990年）のプロジェクトをクリア、東京勤務（94〜2000年）や広告部長職などをこなして2年前に現職ジョブに。社員60人、うち10人いる東京支社へ月1回は出向く。

「昔だったら、どくと紙面を飾れば広告効果があった。現在はテレビ、インターネットなどメディアは多様化、新聞離れの若者層に対する媒体力は後退している。その中で広告という視点から優れた生活情報を読者へ提供できるか、地域のためになっているかを念頭に、訴求力ある広告づくりにクリエイティブも

異色 新聞社で役員 一期一会、悔いなく



「母校の研究開発は誇り」と話す山下さん

に知恵を絞っています」

クリエイティブに発信機を付けて追跡し、被災地で活躍するロボット技術などで注目される本学に、「このような研究や開発をしていることを誇りに思う。日本に、世界に貢献できることを独自の観点でどんどんやってほしい」と期待を込めた。

好きな言葉は「一期一会」。仕事も遊びも悔いなく取り組む、たまのゴルフで気分転換を図る。家族は薬剤師の奥さんと二女。

生まれ育った福岡県は中国大陸への窓口。開放的、派手好き、陽気な県民性といわれる。「仕事上でやりがいがあるけど人や車が多く、地価も高い東京は永住の地としてはどうも……。福岡はちょうどよい」。出ても戻るのはここと決めていたという。

剣道で県立高校時代を過ごし、腕前はうまい。大学は東京で、と本学へ。JR総武線小岩駅に近い下宿から通った。ただし、剣道を続けるより学生生活を謳歌しようというオンライン研究会へ。もともと音楽好きで、なかでもギタリストはカッコいい、と。

ところが、約50人いたメンバーは男ばかり。勢い、遠くない女子大の同じサークルと合同練習したり、大学祭での演奏会など楽しい時間を送った。

は早い。4年後、ふるさとへ戻ろうにも地方では就職門戸は狭い。思い浮かぶのは地元銀行、百貨店だが、場違いな感じがし、西日本新聞社に就職。全国紙、ローカル紙を含め九州一の部数を誇る伝統紙だ。

卒業研究のテーマは「クレペリン検査の自動判定システム」だったんですよ。一定時間内の桁数の計算結果（正答率）から性格・行動面の特徴を判断する、あの心理検査だ。「回答数は初め（初

卒業式をすませ、入社するとシステム開発部へ。そこで広告局を担当した。広告は記事とともに紙面をつくる大切な要素だ。経営も支える。日々変化するニュースの量に応じ、段数や割付け位置は微妙に動く。「売上計算などを含め、電算処理プログラミングづくりは結構きつかった」と振り返る。

7年目。その仕事を若手へ引き継ぎ、広告局本体へ異動した。クライアント（広告主）や広告会社回り。大まかな業

先輩たちに感謝

おいでよ!

第20回文化の祭典

この日、来場者が、一
番輝いたサークルを投票
した。

第20回文化の祭典(実行委員長・黒須夏海さん)が5月24日(日)、津田沼キャンパスでにぎやかに開催された。

今年度のキャッチコピーは「おいでよ!文化の祭典」。

地域のみなさんへの呼びかけだけでなく、文化系サークルによる日々の活動・研究成果を発表する場を、20年間途切らさず、ことごとく開催し続けてくれた先輩たちに対し、感謝の意味を込めて「ぜひ来てほしい!」という思いを込めた。

「おいでよ!文化の祭典」を盛り上げ、訪れた市民約2900人とともに祭典を楽しんだ。

スポーツスタッキングやキネクト(体感型ゲームシステム)など、親子で楽しめる「体験型」のイベントや、恒例のマンガ研究会による似顔絵サ

ービス、鉄道倶楽部のミニ電車乗車体験、陶芸研究会の陶芸体験が行われた。

一方、ニッポン放送アナウンサーの吉田尚記氏を招き文化講演会を開催。コミュニケーションの取り方について、会話

のプログラアドバイザー

この日、来場者が、一番輝いたサークルを投票した。

「文化会の活性化を図るよい機会になった。20回目という節目に、委員長として参加できたことを感謝します」と語った。

実行委員長黒須さん



開会式で



おなじみ焼きそば屋台



一般学生も交じって、よさこいの輪



鉄道倶楽部で、精巧なゲージに遊ぶ親子



現役アナウンサーが講演会



女子も男子も—人気のスポーツスタッキング

クラブの活動状況

文化会	期間	大会・発表会名など
囲碁部	5/23	第一回囲碁大会天昇杯争奪
天文研究部	5/8、30	観測会、プラネタリウム鑑賞
電気研究部	5/9	関東大学間ミーティング
TRPG研究会	5/9	コンペティション
建築都市環境研究会	5/16	ワークショップ
ICC	5/16、17	米国大使館宿舍蚤の市、国際交流
総合工学研究会	5/31	SHIBA - ONE
体育会	期間	大会・発表会名など
空手道部	5/5	第43回関東学空手道選手権大会
少林寺拳法部	5/4	少林寺拳法関東学生大会
陸上部	5/2	第89回日本体育大学陸上競技会
ゴルフ部	5/7、8	平成27年度春季関東大学対抗チャレンジカップ
射撃部	5/7~9	関東学生ライフル選手権春期大会予選会

上記クラブのほか、多くのクラブが課外活動に励んでいます。定期的にいろいろなクラブの活動状況をお知らせしています。学生たちのがんばりにご期待ください。

吹奏楽部のコンサート



省エネマシンが走る



PPA



学生のみなさんは、大学生活を楽しんでいますか。前のnews CITに電験三種を取得された方の記事が載っていました。私、私も3回受験してやっと取得できたことを思い出しました。大学は資格をとることが最終目的ではありませんが、勉強するための環境は最適

だと思っています。これは後になって気がつくものですね。卒業して会社に入るとなかなか時間の自由がききません。わからないことがあっても、先生や友人を頼ることも思うようにできません。ぜひ今のうちに与えられたカリキュラムと違う何かにチャレンジしてみてください。自身の一生の大きな財産となります。きっと良い結果が待っていると思います。そしてnews CITに頑張っている

PPA会長 庄司 栄

四季雑感



成田山詣りに参加しました。夜を徹して、四十キロもの距離を歩くのは初めての経験。不安いっぱいで、出発前の理事長のお話以上の空だったというの内緒です。我々の願いもむなし

頃、一回目の休憩になり、濡った地面にブルーシートを敷き、その上に毛布を置いてスタッフの方々が迎えてくれました。こういうノウハウは長年の蓄積なのでしょうね。佐倉の辺りからカエルがにぎやかな田園地帯に入ります。真夜中に黙々と歩いていると、不思議

情報メディアセンター 下山 直人

編集だより



少し前の話。ゴールデンウィークに、長年の夢だった「益子陶器市」へ日帰りで行ってきた。この益子陶器市は例年、春と秋に開催される。会期中は販売店約50店舗の他、約500のテントが立ち並び、伝統的な益子焼から、カップや皿な

どの日用品、美術品まで販売される。テントでは新進作家や窯元の職人さん達と直接話も楽しめる。夜な夜なネットで見ていた憧れの作家さんの器を求めいざ栃木へ。当日は貴重な時間を有意義に過ごそうと、旦那と娘を陶芸教室に押し込み、しばし自由を楽しんだ。見た目の好みはあるものの手にとってじっくり馴染む何点かを購入。久々に満足のいく買い物

が出来た。家に帰って包みをあけ、再び遭遇した「器を手にする」と、作り手の気持ちをそのまま包み込んだような、なんだか幸せな気分になった。梅雨に入り、さえない陽気ではありますが、色々諦めて少しのんびりしたペースで用事ができる。好きなことを好きなだけ。皆さんはどんな自分時間を過ごしますか? 入試広報課 大橋 慶子